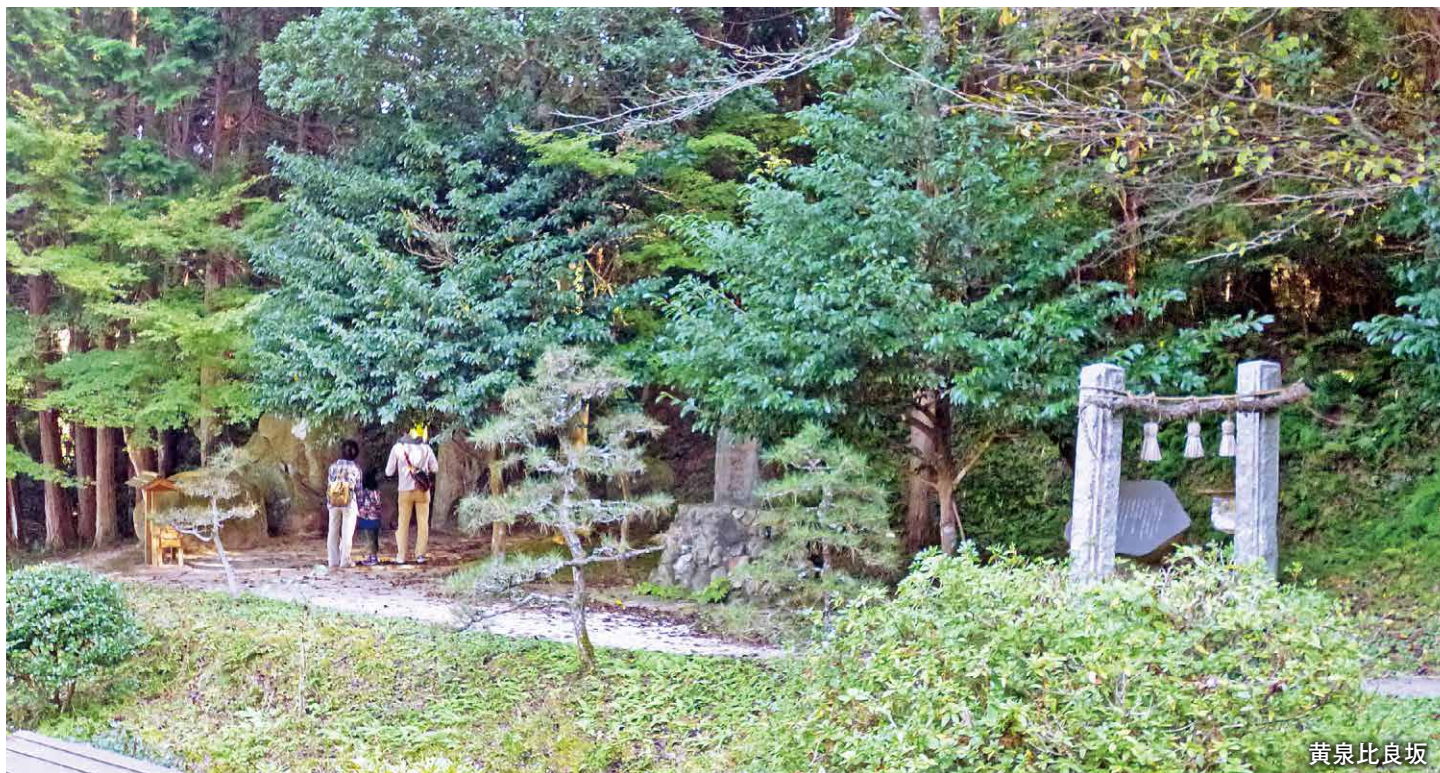


MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会

だより



黄泉比良坂



揖夜神社



阿太加夜神社



門部王の歌碑

平成の
松江風土記⑩

あの世とこの世の境界 黄泉比良坂（東出雲町）

黄泉比良坂は、黄泉の国から還ってきたイザナギを迎え入れた場所、いわゆるあの世とこの世の境界です。オオクニヌシもまた、黄泉比良坂を通して根堅洲国から葦原中国に還ってきました。スサノオから後継者として国造りを託されたのもこの坂です。

揖夜神社は、イザナミをご祭神とし、出雲風土記や日本書紀にも登場します。本殿は大社造りで、五色の八雲、極彩色の神事の障壁画が扉に描かれています。阿太加夜神社と松江城山稻荷神社との間で行われる式年神幸祭「ホーランエンヤ」は日本三大船神事として有名です。

5代目の出雲国司として奈良の都から着任してきた若き門部王（かどべのおおきみ）が望郷の思いを募らせ詠んだ歌が刻まれています。



9月定例会

平成27年9月9日～10月6日

補正予算案・平成26年度決算など 40議案を原案どおり可決・認定

9月定例会は、一般会計1件、特別会計4件、計5件の平成27年度補正予算案のほか、条例案件6件、一般案件7件、議員提出案件5件を審議し、全議案とも原案通り可決しました。また、平成26年度の決算17件については、決算特別委員会を設置、審査を行い、全件認定しました。

一般質問は、19名の議員が行い、松江城国宝化、中核市、子供の学力・いじめ・貧困問題、島根原発・再稼働・虚偽記載問題、地方創生・総合戦略問題、都市計画と拠点連携型まちづくり問題、安保関連法案など市長の見解を問いました。

平成27年度補正予算

一般会計補正予算 6億9,099万円、補正後の一般会計は総額1,008億5,633万円となる

松江イングリッシュガーデンに隣接した旧美術館跡地の取得に向けた関連経費 2億235万円
上追子排水機場整備事業費 9,441万円
中海・宍道湖・大山圏域市長会の広域連携事業の負担金 6,060万円
中海レガッタ（仮称） 959万円
松江城祈禱札レブリカ作成費など展示事業費 706万円
子どもの学力応援プロジェクト事業
（教職員の校務支援システム導入） 514万円
地域との協働の人材の育成事業費 287万円

特別会計、4会計の補正

介護保険事業 1億4,084万円
企業団地事業 7,614万円 など



〈建設の進む新松江市総合体育館〉

主 な 条 例

議第232号 松江市税賦課徴収条例の一部改正について

個人市民税、市たばこ税に係わる地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの

議第233号 松江市個人番号カード利用条例の制定について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い個人番号カード（マイナンバーカード）を利用して住民サービスの向上を図るため、条例を制定するもの

議第235号 松江市指定管理者の管理する運動施設設置及び管理に関する条例の一部改正について

松江市総合体育館の設置に伴い、供用時間や料金の基準額などの所要の改正を行うもの

議第236号 松江市ガス供給条例の一部改正について

原料の輸入価格について、基準平均原料価格の1.6倍を超えた場合、変動をガス料金に反映させるため所要の改正を行うもの

その他の議案

議第237号 小泉八雲記念館再整備（建築）工事の請負契約締結について 契約金額1億7,766万円

議第238号 小泉八雲記念館再整備（展示）工事の請負契約締結について 契約金額2億6,460円

議第239号 財産の取得について はしご付消防自動車を更新整備 契約金額2億412万円

平成26年度決算審査

平成27年9月定例会中において、議長と議会選出監査委員を除く31名で構成する決算特別委員会を設けました。この委員会では平成26年度一般会計や特別会計、公営企業会計を審査し、事業経過と結果・今後の方針等について活発な質疑を行い、その結果全会計とも認定しました。その主な点について次のとおり報告します。

一般会計では、国と一体となって経済対策に取り組む一方、「住みやすさ日本一の実現」に向け、7つの挑戦を柱とした主要施策を「共創」で実施し、平成の開府元年まちづくり構想を具現化する主要事業に対し、税財源や交付税、交付金などの財源、財政健全化への取り組み、施政方針で示された施策の状況、社会保障費の増加、文化財活用、備品の購入、職員研修などについての質疑や意見が多く出されました。



〈住みやすさ日本一にむけて（福祉施設での地域交流）〉

一般会計決算状況

	平成26年度	平成25年度	差額（H26年度－H25年度）
歳入決算額	1,012億6,428万2千円	1,001億828万1千円	11億5,600万1千円
歳出決算額	1,000億1,989万3千円	993億9490万2千円	6億2,499万1千円
差引（歳入－歳出）	12億4,438万9千円	7億1,337万9千円	5億3,101万円

決算特別委員会の審査結果と委員会としての主な意見は以下のとおりです。

一 般 会 計

..... 認 定（賛成多数）

- （意見）◆今後、社会保障関係費の高い伸びが見込まれるが、行財政改革を進め効率的な財政運営、効率的な事業の推進に心がけられたい。
- ◆合併算定替えに伴い、財政基盤の強化のために、財政調整基金、減債基金の増額を図られたい。
 - ◆市債残高の削減は大変重要なことであるが、社会資本の整備を継続的に行い、単年度ごとに予算の大幅な増減をきたさないよう投資的経費を一定の水準に保つよう努められたい。
 - ◆扶助費等は、今後も増加が見込まれる。限られた財源の中で効率、厳正な執行に心がけられたい。
 - ◆集会所整備補助事業では、昨年度、46件の申請中19件の事業採択となっているが、できるだけ市民要望に応えられたい。
 - ◆大型産直市場は、まず現状を把握し、生産供給体制の拡充をされてから進められたい。
 - ◆「サイクルシティ構想」は、まち歩き観光の大きな移動手段となり得るので、継続して構想の推進を図られたい。
 - ◆市立病院跡地については、当初計画案が優先するなら、その具体的な行動案を示されたい。
 - ◆定住対策を進めるにあたり、雇用の場の拡充とともに、子育て環境日本一を目指した予算措置に努められたい。
 - ◆子どもの医療費負担軽減措置については、国の施策として基本的な水準を定めるよう、今後とも市長会等を通じて国へ要望されたい。
 - ◆市営住宅及び駐車場使用料については、今後とも管理を委ねている県住宅供給公社との連携を緊密に行い、滞納の初期における対応を適切に行われたい。

特 別 会 計

国民健康保険事業特別会計 …… 認 定（賛成多数）

（意見）◇国民健康保険料の滞納者数の改善、収納率の向上に引き続き努められたい。

介護保険事業特別会計 …… 認 定（全会一致）

（意見）◇地域包括ケアシステムの構築に引き続き取り組まれたい。

簡易水道事業特別会計 …… 認 定（全会一致）

（意見）◇来年度には、水道事業と統合になるが、採算が困難な事業であり、財源確保について、引き続き、国・県などへ働きかけられたい。また、料金統一にあたっては、引き上げを避けるなど、市民の理解を得られるよう努力されたい。



企 業 会 計

下水道事業会計 …… 認 定（全会一致）

（意見）◇引き続き収納率の向上に努めるとともに、地元に出向くなどし、接続率の向上に努められたい。また、上下水道・簡易水道事業の一体経営で効率的な運営に取り組まれたい。

病院事業会計 …… 認 定（賛成多数）

（意見）◇地域のみなさんに信頼される市立病院となるよう、引き続き、医療スタッフの確保、充実を図るとともに、経営合理化に取り組まれたい。

以下認定

特別会計	穴道国民健康保険診療施設事業、後期高齢者医療保険事業、企業団地事業、住宅新築資金等貸付事業、駐車場事業、公園墓地事業、鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区
企業会計	水道事業、ガス事業、自動車運送事業、駐車場事業

平成26年度決算の財政指標等

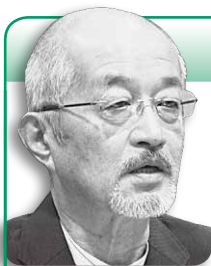
	平成26年度	前年度比	早期健全化基準
経常収支比率	90.3	+0.1	
財政力指数（3力年平均）	0.563	+0.005	
実質公債費比率※1（3力年平均）	16.7	▲0.9	25.0
将来負担比率※2	141.0	▲13.6	350.0
地方債残高※3（一般会計）	1,265億741万8千円	▲44億6,841万円	
債務負担残高（一般会計）	130億8,880万4千円	▲24億4,688万5千円	

前年度に比べて、実質公債費比率（※1：資金繰りの危険度を示す指標）が0.9ポイント減、将来負担比率（※2：将来の財政負担の大きさを示す）が13.6ポイント減と改善しています。また、地方債残高（※3：市の借入金残高を示す）も、前年度に比べて約45億円の減となっています。

9月定例会 一般質問

9月定例会では、9月14日から9月16日までの3日間にわたり一般質問を行いました。

質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



たてわき みちや
立脇 通也

会派代表質問

(松政クラブ)

- ・松江城国宝化にふさわしい
これからの「まちづくり」と
ガバナンスについて



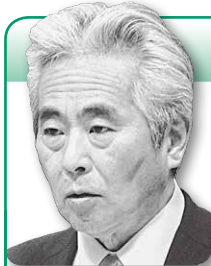
質問 文化財行政のあり方

現在、文化財発掘調査、文献調査、観光行政、文化行政、都市計画が混然としている。この際学術調査研究部門である文化財、市史編さん、歴史館学芸部門を統一的に教育委員会傘下に組織替えをしたらいかか。松江城指定管理についても文化財専門職が直接かわれるよう検討を。

回答 市長の思いを実現する

文化財と歴史的な町並みの関係部署がばらばらに行われているので一ヶ所に統合して、お互い連携を強くしていくことが、市長の思いが実現できる部署として歴史まちづくり部を設置した。

学芸員の増強であるとか、学芸員資格者の採用といったことも、今後努めていく必要がある。西和夫先生からも強く言われたように、文化財行政の専門職を育て上げていくことが重要であると考えている。



よし かね たかし
吉金 隆

会派代表質問

(松政クラブ)

- ・全国学力学習状況調査について
- ・外国語教育について
- ・チームティーチングについて
- ・児童クラブについて
- ・公民館の人員について
- ・中核市移行について

元々人口30万人が要件だった中核市に

質問 なるのか、保健所はどうするのか

人口20万人の要件の特例市の制度が廃止され、人口30万人の中核市の要件が20万人になったことによりそれへの移行準備を進めているが、新たに市民への負担が増えたりしないのか。保健所の設置が求められるが、施設や陣容など問題はないか。

県の協力を得て、移譲事務の精査を行い、

回答 保健所は共同設置を考えている

県・市の担当部署同士の協議を行っており、県の協力を得て事務の精査・事務量調査を進めている。保健所については、現在管内には松江市と安来市があり、なだらかな移行をするために、県との共同設置が適当であろうと協議をしている。



かわしま みつまさ
川島 光雅

会派代表質問

(真政クラブ)

- ・早期に実現・着手すべき主要施策5
つのステップについて
- ・政府機関地方移転について
- ・いじめ問題と新教育制度の運営につ
いて
- ・体育館の老朽化対策について
- ・島根原発の虚偽記録について

松江駅前周辺整備の計画性に合わせ

質問 乃木駅周辺整備も必要ではないか

国際観光都市にふさわしい景観で松江駅を起点に整備するなら駅前の人や車の動線がゆとりを持てる整備が必要ではないか、地下街の整備も一つの方法と思う。高等機関や嫁島団地、商業施設が集積する乃木駅周辺も前向きな整備が必要ではないか。

県都にふさわしい中核駅と乃木駅整備に

回答 市民、JR、県などと進めたい

開府元年まちづくり構想の中で松江駅の整備を取り上げている。人やバス、タクシーなどの利用環境について課題整理を行っている。同規模駅などの駅前開発事例等の調査を行い、地下街も含めて市民とのワークショップ等で検討したい。県内4番目の乗客数を数える乃木駅周辺は地元要望もあり今後駐輪場、ロータリー等の周辺整備を検討したい。



しの はら さか
篠原 栄

会派代表質問

(公明クラブ)

- ・消費生活施策について
- ・介護保険について
- ・防災士について
- ・地方創生について
- ・空き家対策について

松江市消費生活条例制定の取り組みに

質問 についての見解

消費生活条例は、消費者への支援、消費者教育、消費者の利益の擁護に関するもので、松江市内でも特殊詐欺の高額被害が複数発生している。被害の防止や自立支援、消費生活の安定向上を確保するため条例の制定は取り組みねばならない。また、消費者教育推進計画の策定についても伺います。

今後先進地の状況等も十分研究をし、

回答 検討をしたい

条例の制定については、県の条例との整合性の問題もあるので先進地の状況等も研究しながら、検討していきたい。また、消費生活センター条例は今後提案する。消費者教育推進計画は来年度に向け消費者教育推進地域協議会を立ち上げ、この計画の策定を行ってまいりたい。



もりもと ひでとし
森本 秀蔵

会派代表質問
(市民クラブ)

- ・中核市移行
- ・まち・ひと・しごと創生人口ビジョン
- ・**ものづくりアクションプラン**
- ・政治に関心を持つ取り組み
- ・小中一貫教育における公民館の役割
- ・校庭芝生化の状況

ものづくりアクションプラン来年度以降

質問 取り組みの考えは

支援策の目標の見通しはどうか。アクションプランの来年度以降の取り組みについての考えは。

回答 もうかる企業づくりを基本目標とする

企業訪問、個別相談件数は、この2年間で目標を大幅に上回り、個別支援策も今年度末には活動指標を達成できる見込みである。支援策の設備導入補助金を活用した企業は2年半で延べ89社、総投資額は15億2,000万円となっている。平成26年度決算において固定資産税、法人市民税が増加しているが、アクションプランの一定の成果と思われる。

今後、企業の付加価値を高めるもうかる企業づくりを基本目標に、小規模事業者の経営持続化、現場改善活動への支援策を取り入れ、アクションプランの改定を進めていく。



よしざき けいこ
吉儀 敬子

会派代表質問
(共産党議員団)

- ・**安保関連法案廃案の意思表示を**
- ・総合戦略成功の力ぎは住民自治
- ・生きる力を育てる教育
- ・受給者に寄り添った生活保護行政を

質問 市民の命を守る市長は安保法案反対を

安全保障関連法案は、国会審議の中で核兵器まで運ぶことも明らかとなり、憲法違反であることがいよいよ明白となった。姉妹都市の関係にある宝塚市の中川智子市長は「憲法をないがしろにしたこの法案は、市民の命を守らなければならない市長として断じて容認できない」と市報で表明している。松江市民の命を守る責任がある市長として、宝塚市長のように意思表示すべきではないか。



安全保障政策は国において

回答 しっかり議論していただきたい

安倍総理は、憲法違反でないと説明されており、一部では憲法違反の議論もあり、分かりやすく国会で審議を重ねていただきたい。安全保障政策は、国が担うべき事務であり、国においてしっかり議論していただきたい。



もりわき はやと
森脇 勇人

(松政クラブ)

- ・都市計画と拠点連携について



質問 下東川津は拠点にならないか

仮に下東川津を拠点にするならば、この地域を一度市街化区域に編入し、新たに立地適正化計画を立てれば問題なく農地転用も図れ、拠点はルール上作れる。周辺団地も含め市街化区域に編入し都市再生特別措置法の改正に伴う立地適正化計画を立ててはどうか、所見を伺う。

回答 都市機能を集約するには適当でない

立地適正化計画は市街化区域を対象に居住及び都市機能の集約を図る制度であると理解している。過去に整備された団地を市街化区域に編入し立地適正化計画の居住誘導区域に指定するのは適当でないと考えている。原則として新たな開発予定地を居住誘導区域として設定すべきでないことから、下東川津は立地適正化計画制度により居住や、都市機能の集約を図るエリアにはならないと考えている。



まつかげ よしお
松蔭 嘉夫

(松政クラブ)

- ・沿岸漁業振興について
- ・漂着ゴミについて



質問 島根半島の沿岸漁業振興を求める

島根半島部の人口減少は厳しいものがある。基幹産業である沿岸漁業の不振が大きな原因と考える。沿岸漁業を取りまく状況は厳しくなるばかりであるが総括的な振興策について伺う。

回答 県と連携し振興策を実施する

松江市における沿岸漁業は基幹産業である、定置網漁業、一本釣り、刺し網、ワカメ養殖などいろいろな漁業が営まれている。しかし漁業環境が大変厳しい中で、国は「資源管理の強化やつくり育てる漁業の推進、意欲ある漁業者の経営安定の実現、6次産業化、安全で活力ある漁村づくり」等々を基本施策として掲げている。松江市も県と連携しこれらの施策を引き続き実施したいと思っている。新規の漁業就業者の確保、定住人口の拡大、地域間交流の促進によって農山漁村の活性化を図っていく。



き たに ま い
貴谷 麻以 (真政クラブ)

- ・ニューオリンズの訪問団とパレードについて
- ・観光まちづくりの今後の戦略について
- ・地域の安全について
- ・**こどもたちに今何が起こっているのかについて**

学力低下やいじめの課題への対応と、

質問 地域の歴史教育の再考について伺う

学力低下問題でも、いじめの対応でも、教育全体で、チームをつくる環境が必要であるし、必要な時には、すぐに教育委員会が介入するべきだと思う。学校以外で保護者が安心して相談出来る場所が必要だと考えるが如何か。又、出雲風土記のみならず、松江城や城下町、郷土史、風俗や民話など、地域の歴史教育や研究の活用についての考えを伺う。

教育委員会で適切に対応しながら、

回答 ふるさと教育を進める

学力については、習熟度別の学習を検討する。いじめについては、教育委員会で事情を聞きとって、適切な場所へつなぎたい。歴史教育については、年間、35時間以上実施しているが、更に、地域の人、物、事を活用したふるさと教育を進めたい。



つ もり りょうじ
津森 良治 (市民クラブ)

- ・原発問題について
- ・**マイナンバー制度と関連条例について**
- ・空き家対策特別措置法施行を踏まえた対策について
- ・全国学力・学習状況調査結果を踏まえて

質問 情報流出への危機管理について伺う

マイナンバー法の施行を前に、日本年金機構へのサイバー攻撃による個人情報流出したことが大きな社会問題になった。今後、この法律に従って個人番号を利用し、また提供するに当たって、個人情報の流出への危機管理やリスク対策について伺う。

回答 情報セキュリティ意識の向上を図る

情報流出への対策は、行政専用のネットワーク回線の利用、また情報の暗号化を行う。組織的な面では、情報セキュリティに関する統一した窓口を設置した。そして、職員の情報セキュリティ意識の向上を図り、研修や訓練などとあわせて危機管理対策を進めて行く。



は せ がわしゅうじ
長谷川修二 (公明クラブ)

- ・地域の維持について
- ・事業承継問題について
- ・再生可能エネルギーの普及について
- ・**認知症予防対策**

松江市に認知症チェッカーを

質問 導入されてはいかがか

松江市に、スマートフォンや携帯電話、タブレット型のパソコンなどで簡単に認知症をチェックできる認知症チェッカーを導入されてはいかがか。



関係機関の意見を聞き、

回答 導入に向けて検討したいと思う

認知症チェッカーの導入については、他の自治体の状況等を調査するとともに、認知症サポート医を初めとした医療、介護の関係機関等の意見も聞きながら、導入に向けて検討したいと思う。



かたよせ なおゆき
片寄 直行 (共産党議員団)

- ・情報セキュリティ対策
- ・原発問題
- ・**インターネット表記問題**



質問 市議会をトップページに配置せよ

市民の苦言を聞いた。松江市のホームページのトップページには、松江市議会の表記がなく、「暮らしのガイド」の中に隠れている。二元代表制にふさわしく、市議会をトップページに配置すべきではないか。部落人名総監には全国の都道府県別、市町村別に部落に関するだろうと思われる人の名称が列挙してある。人権侵害ではないか。

回答 早急に対応してまいりたい

市議会をトップページに掲載し、議事録などの検索をしやすいことは、議会の広報に関する大切な取り組みと考えているので、早急に対応してまいりたい。インターネット上に人権を侵害する情報が流布されていることは、差別を助長するゆゆしき行為であり、断じて許されるものではない。国及び県と連携を図り、対応してまいりたい。



にい まさただ
新井 昌禎 (友愛クラブ)

- ・松江市総合戦略と人口ビジョンについて
- ・地域公共交通の確保に向けた取り組みについて
- ・空き家管理の更なる推進について

自治体と事業者と地元の三者による

質問 大胆な社会実験の実施を要望する

高齢化社会の進展に伴い、地域公共交通の確保に向けた取り組みは不可欠であるが、バス利用者の拡大と地域交通確保の取り組みとして、行政と事業者と地元の三者が役割と責任を明確化、分担・協力によるサービス向上で負の連鎖を断ち切る大胆な社会実験の実施について検討していただきたい。

利用促進策について、公共交通利用促進

回答 市民会議の中で検討する

全国的に利用者が減少し、バス事業者の経営は厳しさを増している状況にあるが、松江市では、事業者と一体となり利用促進策を展開している。現在、社会実験についての具体的な検討は行っていないが、利用促進策について、松江市公共交通利用促進市民会議の中で検討させていただきたい。



いわもと まさゆき
岩本 雅之 (真政クラブ)

- ・地域包括ケアシステムの構築について



地域包括ケアシステムの政策的な

質問 位置づけと、今後果たすべき役割を伺う

松江市で現在策定中である地方版の総合戦略や、中核市移行に関する基本的な考え方の中で、地域包括ケアシステムの政策的な位置づけと役割を伺う。

地域連携を実現する上で、重要な事業の

回答 一つとして、位置づけをしている

現在、地方版総合戦略策定の中で、5つの基本目標を立てているが、そのひとつに、時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携することを実現する上で、重要な事業のひとつとして、地域包括ケアシステムの構築を位置付けている。中核市移行に関する基本的な考え方においても、健康寿命日本一をテーマとして、よりよい事業の構築が必要であると考えている。



の のうち まこと
野々内 誠 (松政クラブ)

- ・特定工場における緑地面積率等の緩和について
- ・学校図書館活用教育の充実について
- ・障がい者相談支援事業の充実について

質問 特定工場緑地面積率等の緩和を求める

特定工場と呼ばれる一定規模以上の工場について、法改正によって条例を制定し緑地面積率等が緩和できるようにしたが、本市は厳しい国準則のままである。地方創生に通じる人口減少を食い止める雇用創出への取り組みを逃がしていると感じる。他市と同様な緑化面積率等の緩和を行い、工場の新增設につなげる考えはないか。

回答 条例制定を前向きに検討していく

緩和措置を望む企業の声は強いものがあると認識しており、地方創生の大きな手段となっていくのではないかなと思う。一方で環境への配慮も必要であり、緩和のための条例を作っても当該企業と話し合いをしながらやっていくことが求められると思う。いずれにしても、この制度、条例制定については前向きに検討していきたい。



の っ てる お
野津 照雄 (松政クラブ)

- ・大橋川改修事業進捗状況、今期重点事項、新大橋架け替え、利活用、社会実験について
- ・穴道湖・中海での漁業振興、水質改善について
- ・新体育館の管理運営、料金体系と運用について
- ・空き家対策について

平成18年災害から時間経過し洪水経験

質問 風化が心配。治水事業の取組望む

平成18年災害から時間が経過し洪水経験風化が心配される。治水事業の重要性から会派で7月に「松崎島の架橋問題等々」で国交省の青木政務官、国会議員にも要望したが、斐伊川水系治水期成同盟会会長としての決意の程を伺う。

事業早期完成目指し国交省や国会議員に

回答 強力な要望活動を行っている

現在異常気象による突発的、局地的に大水害が頻発している。治水事業の重要性や、この改修事業が早期完成するように色々な機会働きかけをしているが、特に夏と概算要求後の秋に、国土交通省や県選出国会議員、青木一彦国交大臣政務官を始め、関係の皆様には要望活動を行っており、今後も10月27日に再度予算確保等を要望したいと思う。



あしはら やすえ
芦原 康江

(無会派)

- ・島根原発データ不正問題について
- ・原子力災害時における防災業務従事者に対する安全確保について
- ・UPZ内住民へのヨウ素剤事前配布について
- ・原子力防災訓練の充実について
- ・生活困窮者自立支援事業の実施状況について

不正問題に関する改善策の実効性確認まで、

質問 原発再稼働を認めないと表明を

中国電力の原子力という危険なものを扱っているという緊張感に欠けた安全管理は、今回が初めてではない。二度も同じような改善策をとってきて、再び不正が生じている。原因分析も改善策も、その実効性を確認する必要がある、それまでは原発再稼働を認めないことを表明すべきではないか。

回答 規制庁に監視の強化をお願いする

前回の不祥事があった時に、保安院が特別点検を行ったあと、規制庁に引き継がれ、定期的な点検を行っている。その対応が問われなければならない。

規制庁に対して、再度監視の強化をしていただきたいとお願いに行きたいと思っている。その監視の結果、これでいいかどうか判断をしっかりとやっていただく必要があると思っている。



たちばな よしあき
橘 祥朗

(共産党議員団)

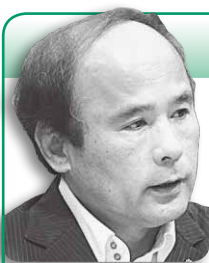
- ・松江市の拠点について
- ・防災情報の伝達について
- ・子どもの貧困対策について
- ・プレミアム商品券について
- ・荒地対策補助制度について

質問 子どもの貧困対策、まったなし

18歳未満の子どものうち、6人に1人は貧困と呼ばれる状態であり親子の「貧困の連鎖」となっている。市は国に対して生活保護の拡大、子どもへの手当の充実、高校の授業料無償化の復活、奨学金制度の充実、18歳までの子どもの医療費の無償化など求めるべき。経済的支援と合わせ、子どもの変化がつかめるのは学校、教育現場は大変だが、子どもが将来に希望が持てるよう充実した対応を。

回答 経済面や就学支援、家庭把握に努める

貧困の連鎖に対し、社会全体で支援が重要。国の施策の拡充を要望する。市は親の就労・生活相談、経済支援と、子どもの教育支援に努める。松江でも6人に1人は保護を必要としている。家庭環境の把握、就学支援など対応を進める。国・県に対しても制度の拡充を求めていく。



たきの けんじ
宅野 賢治

(友愛クラブ)

- ・大学誘致に関する基本的な考え方
- ・少子化影響に対応した学校運営
- ・防災・危機管理
- ・成年後見制度
- ・指定管理者制度
- ・民間企業との包括連携協定

質問 松江市の市民後見人の養成状況は

弁護士、司法書士等の専門職以外の市民後見人を育成されているが、松江市において「市民後見人」がいよいよ選任されそうなのか、現状を伺う。

今年度中には、

回答 市民後見人が選任されるよう目指している

市民後見人は、成年後見人制度の需要の増大が見込まれる中、その解決策として専門職だけでなく、一般市民の方が地域のつながりを利用して後見業務を行うものである。家庭裁判所は、その選任に当たり、専門職の支援や各種サービスの支援等、活動をバックアップする体制を重視している。現在、その体制づくりの検討を市社会福祉協議会に設置した権利擁護推進委員会において行っており、協議を密にしながら、今年度中には市民後見人が選任されるよう目指している。

平成27年12月定例会日程

月	日	曜日	会 議 名
12	2	水	本会議（会期の決定、委員長報告・質疑、討論、採決、提案説明）
	7	月	本会議（一般質問）
	8	火	本会議（一般質問）
	9	水	本会議（一般質問、議案質疑、委員会付託）
	10	木	総務委員会
	11	金	教育民生委員会
	14	月	経済委員会 建設環境委員会現地視察
	15	火	建設環境委員会
	18	金	本会議（委員長報告・質疑、討論、採決） 閉会

議会事務局 総務課 TEL55-5432

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後もし引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

議員提出議案

松江市議会として市に関わる重要な事柄について以下のとおり国に意見書を提出しました。

件 名	結 果
議員提出議案第7号 地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決 (全 員)
議員提出議案第8号 参議院選挙制度の見直しを求める意見書について	原案可決 (全 員)
議員提出議案第9号 子育て支援の充実を求める意見書について	原案可決 (全 員)
議員提出議案第10号 生活困窮者自立支援法の事業推進と任意事業の財源拡充を求める意見書について	原案可決 (全 員)

陳情の審査結果等 (閉会中及び9月議会)

件 名	提 出 者	結 果
陳情第19号 松江市の拠点形成計画における松東地域の中間拠点づくりについて	松東地域中間拠点づくり推進協議会 会長 久保田明雄	—※
陳情第20号 人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求めることについて	在日本大韓国民団島根県地方本部 団長 金 吾男	—※
陳情第21号 島根原発の稼働・再稼働に反対し再生可能エネルギーの飛躍的な普及を求めることについて	原発ゼロをめざす島根の会 共同代表 山崎 泰子	不採択
陳情第22号 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の提出について	小坪 慎也	不採択
陳情第23号 後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の継続をすることを求める意見書の提出について	島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	不採択
陳情第24号 ヘイトスピーチの禁止等に関する法律の整備を国に求めることについて	あと一秒、の会 共同代表 渡部 通恵 池田 博子	—※

※閉会中に審査を行うことに決定しました。

宝塚市議会と交流を実施

姉妹都市提携を結んでいる兵庫県宝塚市の市議会議員の一行が、8月20日に来松し、定例となっている松江市議会との合同交流研修会「このまちの魅力一講師：松江市観光文化プロデューサーの高橋一清氏」や、意見交換を行い、交流を深めました。



記念品を交換する両議会議長

国宝松江城を創建し松江開府の祖である堀尾吉晴公の生誕の地、愛知県大口町と松江市との姉妹都市提携調印式が、8月29日に執り行われました。この中で両議会議長が末長い交流を願い、記念品の交換をしました。



編集後記

本市は暮らしやすさ日本一にランキングされ全国から注目されていますが、中核市移行や地方創生など、取り組まなければならないことも数多くあります。暮らしやすさ日本一であり続けるためにも、議会での活発な議論は必要ですし、なによりも市民の皆さまからの声を届けることも議会にとって重要な役目です。

その一助となるよう、編集に心がけていきたいと思えます。皆さまからのご意見をお待ちしています。

議会広報等特別委員会副委員長 森本 秀歳

皆様のご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいております、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただきます。

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)
電 話 (0852)55-5433
ファックス (0852)55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp



ホームページアドレスが変わりました
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/>